

第 49 回日本赤十字社医学総会報告

第49回日本赤十字社医学会総会が10月17・18日に和歌山で開催されました。
参加された会員の声をお届けします。

医学総会に参加して（第49回医学会総会報告）

日本赤十字社和歌山医療センター 小林 弘幸



開会式

10月17日（木）、18日（金）和歌山市において第49回日本赤十字社医学会総会が開催されました。
私は、2日目の一般口演での発表のため参加させていただきました。



山中教授ビデオメッセージ

初日の特別講演では、京都大学 iPS 細胞研究所から川口義弥先生をお招きし「多能性幹細胞を用いた糖尿病治療開発の展望」を講演していただきました。講演では、ノーベル医学賞受賞で一躍時の人となった、山中伸弥先生からのビデオメッセージもあり、注目度の高い総会であったと感じられました。



放射線技術部門

私が参加させていただいた一般口演放射線技術部門では、当センターから撮影部門、CT部門、治療部門から各1題ずつ、計3題の発表がありました。他施設の放射線技術部門の発表も聴きかせていただきました。どの発表も、これからの日常業務に活かせる、興味深いものばかりでした。



要望演題発表風景

発表終了後に他施設の演者の先生と、日常業務での気になる事など情報交換させていただき、とても充実した機会となりました。

このような機会を与えていただいた事に感謝し、今後の日常業務に活かしていきたいと思えます。



ポスター会場